

会 議 録

会議の名称	第2回戸田市バイシクルシティ推進プラン策定委員会
開催日時	令和5年8月7日(月) 午後2時00分～午後3時15分
開催場所	戸田市役所5階 大会議室C
委員長等氏名	委員長 久保田 尚 委員(埼玉大学大学院 理工学研究科) 副委員長 宮澤 正 委員(戸田市町会連合会)
出席者氏名 (委員)	奥墨 常治 委員(戸田市サイクリング連盟) 古高 誠司 委員(日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社) 森 幹生 委員(シナネンモビリティ PLUS 株式会社) 船津 宗和 委員(埼玉県 蕨警察署) 小森 敏 委員(埼玉県県土整備部県土整備政策課) 早川 昌彦 委員(戸田市都市整備部長) 山本 哲史 委員(戸田市共創企画課長) 遠藤 康雄 委員(戸田市福祉保健センター課長) 谷島 雅人 委員(戸田市経済戦略室課長) 杉森 雅之 委員(戸田市教育委員会事務局教育政策室課長)
欠席者氏名 (委員)	なし
説明のため 出席した者	なし
事務局	都市整備部 山碓次長 都市交通課 野口課長、小原課長、窪主幹、齊藤副主幹、高橋副主幹、今井主任、浜田主事
議 題	1 開会 2 報告事項 (1) 通勤・通学時の交通手段に関する WEB アンケート調査結果について 3 議題 (1) 戸田市バイシクルシティ推進プラン骨子案の修正・決定について (2) 戸田市バイシクルシティ推進プラン計画素案の確認・検討 ①戸田市バイシクルシティ推進プラン計画素案について ②第1回策定委員会における意見等への事務局の対応状況

	<p>(3) 今後のスケジュールについて</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
会議結果	別紙「会議の経過」のとおり
会議の経過	別紙「会議の経過」のとおり
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・【資料1】「通勤・通学時の交通手段に関するアンケート」調査結果報告 ・【資料2】骨子（施策体系）修正案 ・【資料3】戸田市バイシクルシティ推進プラン計画素案について ・【資料4】第1回策定委員会における意見等への事務局の対応状況 ・【資料5】今後のスケジュールについて ・【その他報告資料】戸田市サイクリングロードマップの作成状況について ・「戸田市バイシクルシティ推進プラン」素案

(会議の経過)

発 言 者	議題・発言内容・決定事項
委員長	1 開会 2 報告事項 (1) 通勤・通学時の交通手段に関する WEB アンケート調査結果について 【資料1】について、事務局から説明願いたい。
事務局	《資料に沿って説明》
委員長	ただいまの事務局からの説明に何か意見・質問はあるか。
委員一同	《特になし》
委員長	3 議題 (1) 戸田市バイシクルシティ推進プラン骨子案の修正・決定について 【資料2】について、事務局から説明願いたい。
事務局	《資料に沿って説明》
委員長	ただいまの事務局からの説明に何か意見・質問はあるか。
委員一同	《特になし》
委員長	(2) 戸田市バイシクルシティ推進プラン計画素案の確認・検討 【資料3】及び【資料4】について、事務局から説明願いたい。
事務局	《資料に沿って説明》
委員長	ただいまの事務局からの説明に何か意見・質問はあるか。 スケジュールの都合上、次回の委員会で計画素案が確定することとなるので、本日の段階で出来る限り意見等を挙げていただけるようお願いしたい。

委員	<p>計画素案の中の成果指標について、目標値が特定の期間内での値か、累計値であるのかが分かりにくい箇所が見られる。</p> <p>例として、施策 9・取組⑳の『放置自転車の活用推進』、などは、成果指標が年 8 回なのか、累計 8 回なのかを明確にするために、その旨を明記した方がよいのではないかと。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、成果指標については、年間のものとは累計のものが混在しているため、次回の委員会までに分かりやすい表記に見直しを行います。</p>
委員	<p>施策 6・取組㉑において、目標値を『自転車通行空間整備総延長を令和 10 年度に 17.18km にする』とある。現状値を見ると毎年約 1km の整備を実施することとなり、大規模な工事が必要となると思われるが、この数値目標は達成可能と見込んで設定したものであるのか、それとも希望的な数値として設定したものであるのかを伺いたい。</p>
事務局	<p>第 2 次戸田市歩行者自転車道路網整備計画において、令和 3 年度から令和 12 年度までの 10 年間で 8.4km の自転車通行空間整備を実施することを見込んでおります。今回の数値目標は当該計画の途中ではありますが、達成可能なものであるとして設定しております。</p>
委員	<p>施策 6・取組㉒において、自転車通行時に危険と報告された箇所の対策を挙げているが、具体的にどの通行空間の場所が危険箇所となっているのかわからない。どういった基準で整備を進めていくのか伺いたい。</p>
事務局	<p>今回の危険箇所については、県が策定する第 5 期埼玉県通学路整備計画において改善要望がありました、130 箇所を基にしております。このうち、自転車の通行時に危険であると報告されている箇所が 38 箇所あり、現時点で 29 箇所が対策実施済の状態です。残りの 9 箇所について、現場を確認しながら、適切な対応をしていきたいと考えております。</p>
委員長	<p>この取組みに対し懸念される点として、計画素案に掲載されている写真から、看板や電柱幕を立てるだけで対策として完結してしまうのではないかと、</p>

	<p>と思われてしまう点である。</p> <p>現在、さいたま市と共同で美女木・内谷地区でのゾーン 30 プラスの計画が進んでいるように、近年は様々な安全対策手段が選択されるようになっていく。</p> <p>この機会に、対策メニューの一新を実施してみてもどうか。</p>
事務局	<p>ゾーン 30 プラスについては、昨年度に美女木二丁目、三丁目地区で実施した実績があり、現在も美女木北地区で検討が進んでいるため、メニューとして追加していく方針で検討していきたいと考えております。</p> <p>また、計画に掲載する写真についても、その点を踏まえ、再考してまいります。</p>
委員	<p>施策 7・取組⑱について、利便性や環境に応じた料金設定の検討や最適化については是非お願いしたいところである。他に、近年の最低賃金の上昇等による運営費の増大も考慮いただき、全体の運営を利用料金で賄うことができるような値上げも検討していただきたい。</p>
事務局	<p>利用料金の値上げについては、難しい課題となるが、周辺の民間自転車駐車場の利用料金等も注視しながら、個別に検討していきたいと考えております。</p>
委員	<p>各種成果指標について伺いたい。</p> <p>(1) 施策 1・取組②について、交通結節点におけるシェアサイクルポートを 1 箇所ずつ増設していくという目標値を設定しているようであるが、これは既に検討している場所があり、目標達成が可能な想定であるのか。若しくはこれから検討していく段階であるのか伺いたい。</p> <p>(2) 施策 2・取組④について、自転車通勤・通学者の割合を毎年 0.5% ずつ増加する見込みで目標値を設定しているようであるが、この問題の原因は、目的地までの距離やそこまでの道路整備状況等によるところが大きいいため、周知・啓発等によって数値を改善させるのは難しいのではないかと考える。</p> <p>それ故、この目標値は難易度が高いと思われるが、この数値を設定した根</p>

事務局	<p>拠を伺いたい。</p> <p>(3) 施策3・取組⑥について、「サイクルサポーター制度」認定施設について、現時点でどのような施設に設置を検討しているのか、伺いたい。</p> <p>(4) 施策9・取組②について、数値目標に『放置自転車が少ないと感じる人の割合』という主観的指標が用いられているが、この場合は『放置自転車の台数』といったような客観的指標を用いるのが適切と考えられる。主観的指標を目標値とした理由があれば伺いたい。</p> <p>(1) 現状値の8箇所は市内3駅、下笹目バスターミナルの他、シェアサイクルポートとバス停が50メートル以内の近隣にある箇所を設定しています。</p> <p>これから増設する箇所もシェアサイクルポートとバス停が近接した場所となる想定ですが、現時点で具体的な見込みは立っておらず、これから検討していくという目標設定となります。この条件を満たす場所を見つけることも困難な状況ではありますが、着実に増やしていくことを目標としていきます。</p> <p>(2) 現状、当市における全体の自転車利用率は72.4%となっており、今回の計画策定後、各取組みを実施していく中で、5年間で利用率を75.0%まで向上させることを目標としています。この5年間で2.6%増加させるという数値目標に近い数値を反映させたものが、取組④における数値目標の算出根拠となります。</p> <p>(3) 当初は公共施設を中心に増やしていきたいと考えています。また、シェアサイクルポートを設置させていただいている民間施設様にもご協力いただけると見込んで数値設定をしております。</p> <p>(4) 放置自転車の台数そのものはかなり減少しましたが、コロナを経て再度増加の兆しもあり、目標値の設定が難しいところです。そのため客観的指標よりも、啓発活動等によって放置自転車が出来ないという認識が市民に広まっていく方が成果としては適切であると判断し、今回の主観的指標を採用しました。</p>
委員	<p>現在の指標であると、約半数の方が『放置自転車が少ないとは言えない』と思っているという状況になっており、せっかく積極的に放置自転車への対</p>

	<p>策を実施している成果が見えづらい状態になってしまっている。</p> <p>目に見えて数値が減っていく指標の方が市民の方からの印象もよくなるのではないか。</p>
委員長	<p>放置自転車の台数に関するデータはあるのか。</p>
事務局	<p>データは存在しております。つきましては、台数の推移を見ながら、どういった指標が適切かどうかを再度検討してまいります。</p>
委員	<p>計画素案40ページ「市民の運動習慣と健康寿命」の中で、出典として用いられている『戸田市健康づくりに関する市民アンケート』については、令和4年度に実施したものがあるので、改めて提供する。</p> <p>また、計画素案65ページの施策2・取組③「自転車を活用した健康づくりの推進」部分については、スマートウェルネスの観点を踏まえて内容を調整し、次回の委員会には完成版を掲載したい。</p> <p>最後に、計画素案2ページ「1-3 計画期間」の中で、スマートウェルネス推進プランを5年間で掲載いただいているが、こちらも現在調整中で、6年間とする想定もあるため、決定次第改めて報告する。</p>
委員長	<p>本日委員からいただいた意見を基に、事務局には修正をお願いしたい。</p>
	<p>(3) 今後のスケジュールについて</p>
委員長	<p>【資料5】について、事務局から説明願いたい。</p>
事務局	<p>《資料に沿って説明》</p>
委員長	<p>ただいまの事務局からの説明に何か意見・質問はあるか。</p>
委員一同	<p>《特になし》</p>
	<p>4 その他</p>
委員長	<p>その他、事務局から連絡事項があればお願いしたい。</p>

事務局	<p>《【その他報告資料】戸田市サイクリングロードマップの作成状況について、資料に沿って説明》</p>
委員長	<p>ただいまの事務局からの説明に何か意見・質問はあるか。</p>
委員	<p>戸田駅ルートについて、山宮橋は勾配が急で、自転車で走行するのは大変である。トコバス西循環の経路である境橋を通るルート等、そこまで勾配が急ではないルートも考えられると思うが、山宮橋を通るルートを選択した理由があれば伺いたい。</p>
事務局	<p>今回のサイクリングロードマップについてはシェアサイクルの利用を想定しており、シェアサイクルであれば電動自転車で勾配を気にせず通過できること、また山宮橋を通る北大通りは自転車通行空間が整備済であることからこのルートを設定いたしました。</p> <p>5 閉会</p>